

令和 5 年 9 月 28 日

令和 5 年度 終始業式挨拶

- 第 3 回定期考査も今日で終わりホッとしていると思いますが、手ごたえはどうだったでしょうか。校内放送にて、令和 5 年度の前期終業式・後期始業式を行いたいと思います。
- まずは、皆さんの飯田高校生徒としての自覚により、本校に係わる大きな事故や事件もなく、今年度の前期が無事終わることができそうなことに感謝します。とはいうもののコロナウイルス感染によるクラスター発生にともなう学校閉鎖、さらにはついこの間の 2 学年普通科全クラスの学級閉鎖など、コロナウイルスの脅威が身近にあることを痛感させられました。また、すでにその兆しがあります。今後インフルエンザの大流行も懸念されます。十分注意して日々の生活を過ごしてもらいたいと思います。特に、3 年生は、進路実現に向けて大切な時期となってきます。体調管理を万全にして下さい。
- ところで、この夏は国連のグテーレス事務総長が「地球温暖化から地球沸騰化の時代が到来した」と警告したように、酷暑、猛暑の日々が続き、耐えるのに大変だったと思います。今は“異常気象”と言っていますが、あと数年も経てば“例年並み”と言われるようになるのでしょうか。
- さて、ギリシア神話にある“パンドラの箱”の話を知っていますか。神のものであった火を人間が持ったために、怒った最高神ゼウスが、人間を懲らしめるために、パンドラという人間で最初の女性を作り、箱を持たせて人間の世界へ送りました。中に何が入っているのか気になったパンドラが箱を開けた時、犯罪や疫病、不幸など様々な禍が飛び出し、以後人間はこれらの災いとともに生きていくこととなったという話です。
- ここ数年の異常気象とその影響は世界各地でも起こっています。直近では、ハワイのマウイ島で発生した大規模な山火事、北アフリカのリビアで起こった大洪水等がその一例だと思います。また、このままの状況でいけば、北極海では 2030 年代の夏にすべての氷が溶けて消失する可能性があること、さらに、南極で氷が消失した場合は、南極の地盤が数百メートル隆起し、海水面が上昇し、地球全体の海水面が 60 メートルも上昇するとも言われています。
- さらに、皆さんも知っていると思いますが、核戦争による人類の滅亡までの時間を示した「世界終末時計」では、残り「90 秒」と過去最短を示したと今年の初めに大いに話題となりました。その他、人間の存在を脅かすような新型コロナウイルスの出現や生成 AI の進化など、様々なレベルで地球、人類の危機が叫ばれています。

- 大袈裟な見方かもしれませんが、様々な課題が顕在化している今は、まさに“パンドラの箱”が開かれたような状況ではないかと思います。しかし、ギリシア神話には続きがあります。人間界に災いや不幸、悪が広がり、驚いたパンドラが急いで箱を閉めた時、箱の中に「希望」だけが残り、そのため人間は希望を持って生きることができるようになったとのことです。
- これからは予測困難な時代とよく言われていますが、そんな時代だからこそ、「より良い社会を作りたい」「より良い人生を送りたい」との願い、希望が強まってきているように感じます。特に、これからの時代を担っていくことになる高校生や大学生にその意識が強く、垣根を越えて世界平和やSDGs等に関連する取組みに積極的に係わりようとする姿がみられます。自己保身の大人たちには、もう任せておけないということでしょうか。このような若者の意識の変化、行動こそ大いなる希望です。
- 本校でも、この夏休みに学校外の様々な場において、日頃の授業とは違った貴重な学びを体験した人や、国内外の若者と交流を深めた人などがいました。このような活動を通して、これからのより良い社会について考えたことでしょうか。今後は非常に楽しみですし、学校の学びだけに留まらず、様々な学びを体験してもらいたいと思います。
- 最後に、マーティン・ルーサー・キング牧師が「我々は限りある失望を受け入れなければならない。しかし、限りない希望を捨ててはならない」と言っています。「より良い社会を作ろう」という希望を持ち続けてもらいたいと願っています。
- 最後に苦言を一言。大半の人は自分の目標のために、時間を有効的に使っていますが、その一方で、時間を無駄とは言い過ぎかもしれませんが、残念な使い方、具体的にはスマホに依存している人を見かけます。今日は、今年度の折り返しの日です。前期の自分をしっかりと見つめ直し、後期に臨んでももらいたいと思います。
- 3年生は昨日、大学入学共通テストの出願を済ませたと聞いています。これからが進路実現に向けて大切な時期となりますが、焦ることなく一日一日を過ごして下さい。以上、令和5年度の終始業式の挨拶とします。